

# 議会制民主主義破壊の暴挙 議員定数の削減

## ねらいは、民意切り捨て、悪政の押しつけ

日本共産党国会対策委員長・衆議院議員 塩川 鉄也さん

自民党と日本維新的会が12月5日、定数削減法案を国会に提出しました。衆議院議員定数の1割削減を目標とし削減方法は協議会で検討としていますが、1年後には「小選挙区25・比例代表20」削減を施行する「自動削減条項」を盛り込んでいます。削減の理由や根拠は一切示さず、自民・維新両党の「政権合意」を問答無用で国会と国民に押し付ける身勝手極まる、議会制民主主義を否定する暴挙です。

維新が政権を維持したい自民に突き付けた「議員定数削減」は、論点をすり替え、連立に邪魔な「企業・団体献金禁止」の主張を棚上げして、自民党的責任逃れに手を貸すもので

さらに、維新の吉村代表は、社会保障「改悪」など悪政に突き進む突破口（センターピン）が定数削減だと発言しています。

高市総理等がいう「身を切る改革」は、政権与党が自らの失政を棚に上げ、国民に負担と痛みを押し付けるときの常套句です。

昨年の衆院選挙、今年の参院選挙でも、厳しい審判を下した国民が求めたのは、自民党裏金問題など金権腐敗政治の根絶です。行うべきは、裏金問題の全容を徹底解明し、裏金

### 論点すり替え・棚上げ

定数削減のねらいは、悪政押し付けのため、議員数を減らして国民の

定数削減で切り捨てられるのは主権者・国民の声です。地方の議席を減らし、少数意見や少数政党を排除することです。

さらに、維新の吉村代表は、社会が国の普通選挙100年の歴史で最少です。国会議員数はOECD加盟38カ国の中で36番目の最低の水準です。日本は議員が少なすぎます。議員定数削減に合理的な根拠は存在しません。このことは、2016年定数削減の際、有識者の調査会が「削減する積極的理由や理論的根拠は見出し難い」と答申しており、これが国会論戦でも与野党が共有している到達点です。

削減に根拠なしが到達点

声を遠ざけ反対意見や少数意見を封じ込める多様な民意の排除です。

民意が届く選挙制度こそ



国会議員は主権者・国民の代表です。民意を正確に反映した国会での徹底した議論を通じて国の進路を決めることこそが、国民主権の議会制民主主義です。